

「LIME3 によるグローバルスケールの評価の可能性」

【セッション概要】

LIME3 (Life cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling) は、LCIA (Life Cycle Impact Assessment)を実施する環境影響手法である LIME 2 の後継版として開発された。LIME3 では LIME2 の手法を踏襲しつつ、気候変動、大陸間の大気汚染と PM2.5 水消費、地下資源消費、森林資源消費の環境への影響の評価ができるように改訂された。また、各国の統合化係数を導出することにより、グローバルなサプライチェーンを有する製品について、現地の状況を反映した影響評価が可能になった。

この研究会では参加企業が LIME3 を利用して環境影響評価を実施しており、本セッションではその中間報告を通じて LIME3 の活用方法とその可能性について議論する。

【セッション構成】

イントロダクション	
LIME3 の概要	伊坪徳宏 (東京都市大学)
事例発表	
セメントのライフサイクルでの影響評価	桐野裕介 (太平洋セメント株式会社)
(仮) 5G 活用シナリオ事例の環境影響評価	在原悟 (富士通株式会社)
(仮) 太陽光発電システム架台の環境影響評価	野村剛太 (日軽金アクト株式会社)
(仮) 飼料添加物メチオニンに関する LIME3 評価	林真弓 (登壇者) (住友化学株式会社) 岡本弘 (株式会社住化技術情報センター)
総合討議	
モデレータ：稲葉敦 (工学院大学)	

※タイトル、発表順など当日変更がある場合もあります。

【参考情報】

書籍：LIME3 グローバルスケールの LCA を実現する環境影響評価手法

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b302993.html>